

(別紙4(2))

事業所名 GH 木曾三川

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 2 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		今後も身体拘束の弊害について理解を深め、玄関が解錠できるよう取り組む必要がある	身体拘束をしないケアについての理解を深め、日中の玄関解錠を実践する	1、高齢者虐待、身体拘束排除についての勉強会を実施 2、玄関の解錠について話し合いの実施 3、2の結果、9:00から17:00まで解錠することを実施	1ヶ月
2		福祉用具の事故に対する緊急処置として対応したカバー付きベッド柵のにより、ベッドより周りを見渡すことができないため、閉塞感がある	居室にて居心地よく過ごしていただけるよう、工夫、配慮する	1、運営推進会議において他者の意見を聞く 2、1の中から参考意見となるものをスタッフと利用者の立場に立って検討する 3、検討したものを実践していく	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。